

## これだけは覚えよう！重要ポイント

度数 各階級に入るデータの個数

度数分布表 階級と度数をまとめた表

合計 全度数の和 =  $n$

## Q. 度数分布表とは？ データを階級ごとに分けて、個数（度数）を数えた表。

## ① 度数分布表の意味

定義

大量のデータを整理するため、範囲を区切って個数を数える。

データ → 階級分け → 度数

## ② 度数の求め方

方法

各階級に含まれるデータの個数を数える。正の字を使うと便利。

正の字で数える

## ③ 表の作り方

手順

階級・度数・合計を表にまとめる。合計がデータ数と一致するか確認。

$$\sum f = n$$

## ④ 表の読み取り

読解

どの階級に多く集まっているかなど、分布の特徴を読み取る。

最多の階級を見つける

## 💡 ミス回避のコツ

## ⚠️ 数え漏れ・重複

✖

合計がデータ数と合わない

○

正の字で丁寧に数える

合計が元のデータ数と一致するか必ず確認。

## ⚠️ 境界値の扱い

✖

15は10以上15未満？ 15以上20未満？

○

以上・未満のルールを確認

「以上・未満」か「以上・以下」かを確認する。

## 最終確認チェックリスト

- 度数分布表の意味を理解したか？
- 度数を正しく数えられるか？
- 合計がデータ数と一致するか確認したか？